

気になるあざやしみを
ピンポイント治療

レーザー治療開始！

はじめに

2024年4月より当院皮膚科・形成外科においてレーザー治療を開始しました。乳児血管腫(いちご状血管腫)などの赤いあざに対しては色素レーザーを、異所性蒙古斑や太田母斑などの青や茶色のあざに対してはQスイッチルビーレーザーを導入しています。また、2024年10月からは、しみやそばかすなどの美容目的の自由診療も開始しました。

しみ・そばかすなどの治療

しみやそばかすは、皮膚に生成されたメラニン色素が自然に排出されずに残ったものです。レーザーを皮膚に照射すると、黒いメラニン色素に反応し、熱が発生します。熱によってメラニン色素が分解され、少しずつ体外に排出されて薄くなります。当院ではQスイッチルビーレーザーを使用して治療を行います。

いちご状血管腫

当院でのレーザー治療開始後、特に乳児血管腫(いちご状血管腫)の当院への紹介件数が増えています。乳児血管腫の積極的治療として、従来から当院では皮膚科と小児科で連携し、ヘマンジオルシロップ内服による治療を行ってまいりました。ただし、ヘマンジオルシロップは投与量の調整や副作用のモニタリングを行うために小児科に入院の上で導入しなければならず、特に病変が1cm未満の小さなものである場合、内服導入のハードルはどうしても高くなります。今回レーザー治療を開始することにより治療のハードルが低くなります。

乳児血管腫のレーザー治療は、保険診療では3ヶ月の期間を空けて行います。治療の回数は個人差がありますが、3回程度照射することが多いです。病変が数cm以内であれば麻酔なしで照射することもできます。

当院で治療できる疾患

	自由診療(美容目的)	保険診療
Qスイッチルビーレーザー	しみ(日光色素斑) そばかす(雀卵斑) 後天性真皮メラノサイトーシス 刺青(タトゥー) など	異所性蒙古斑 扁平母斑 太田母斑 外傷性刺青(外傷性色素沈着) など
色素レーザー	ケロイド 難治性の尋常性疣贅 など	乳児血管腫(いちご状血管腫) 毛細血管奇形(単純性血管腫) 毛細血管拡張症 など

●全身麻酔下でのレーザー治療

毛細血管奇形や異所性蒙古斑など、全身麻酔下で広範囲のレーザー照射が必要な場合は、形成外科で入院の上、治療を行います。

今回導入したレーザー治療機器

色素レーザー
(VbeamII)

血管の拡張・増殖を原因とする赤あざの治療に効果的です。血液中のヘモグロビンに反応し、血管を熱破壊し閉塞させます。

Qスイッチルビーレーザー
(The Ruby Z1 Nexus)

しみやあざ、タトゥーの除去に効果的です。皮膚のメラニン色素のみを破壊するため、周囲の正常な皮膚へのダメージを少なく抑えられます。

Check! 受診方法

【保険診療】

8:00~11:00の間にご来院・受付してください。詳細は病院HP「外来受診のご案内」をご参照ください。

【自由診療】

自由診療は完全予約制となっております。アプリ「やくばと」よりご自身でご予約をお取りください。



◀ご予約はこちら

料金(自由診療)

- 面積 1 cm² 以下の場合 →15,000 円
 - 面積 1 cm² を越える場合 →1 cm²追加ごとに 10,000 円追加
- 例)
2 cm²の場合 = 25,000 円
3 cm²の場合 = 35,000 円

※別途消費税がかかります。
※その他、診察料(初診・再診)+お薬代などががかかります。

形成外科 主任診療科長

笠井 昭吾

かさい・しょうご



皮膚科

外山 雄一

とやま・ゆういち

